

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2023年 1月27日にパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

区分 I: 該当なし

区分 II: 該当なし

区分 III: 該当なし

その他: 4 件

NO.	号機等	不適合件名	グレード	発見日
1	2号機	補機冷却海水系ポンプ(A)電動機軸受冷却水配管において、フローサイトグラス(ガラス製流量確認窓)の破損により原子炉補機冷却系第2中間ループの水(非放射性)の漏えいが認められたため、当該フローサイトグラス(ガラス製流量確認窓)を交換・修理。 なお、電動機軸受冷却水の入口弁と出口弁を全閉としたことにより水の漏えいは停止した。 また、補機冷却海水系ポンプと原子炉補機冷却水第2中間ループポンプは点検により停止中のため、使用済燃料プール水の冷却に影響はない。	GⅢ	1月26日
2	3号機	起動用変圧器3SAにおいて、地震の際に「起動変圧器3SA故障」と「油面低下(エレファント)」の警報が発生した。起動用変圧器3SAに異常は見られないが警報が消灯しないことが認められたため、原因調査・対策検討。 なお、上記警報は1月26日に消灯した。	GⅢ	1月25日
3	3号機	3、4号機サービス建屋人員用退出モニタNo. 7において、「入口駆動部異常発生」の警報が発生し、当該退出モニターが使用できないことが認められたため、原因調査・対策検討。 なお、他の退出モニターにより、管理区域からの退出時の身体汚染検査はできていることから、身体汚染検査に影響はない。	GⅢ	1月25日
4	3号機	中央制御室制御盤計3面(H13-P673, P671-2, P672)において、予備も含め全ての警報が点灯と消灯を繰り返す状態が認められたため、原因調査・対策検討。 なお、点灯と消灯を繰り返している警報の制御装置を手動で「常用系」から「待機系」へ切り替えを行い、「待機系」により警報の制御を行ったことにより、警報は通常の状態へ復帰したことから、中央制御室内の監視に影響はない。	GⅢ	1月27日